

「人と地域が輝く常盤協議会」 広 報



「人と地域が輝く常盤協議会」設立趣意書

常盤学区は、古代からの歴史を有し、市内にある国や県、市の指定文化財や遺跡の半分が存在するという文化財の宝庫です。また、緑豊かな田園、藤やハスの花、湖辺の水鳥など、琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境にも恵まれています。烏丸半島には、水生植物公園みずの森や琵琶湖博物館があり、夏のイベントには全国から多くの人たちがやってきます。

現在、常盤学区は16の町内会で構成され、5,211人、1,683世帯（平成23年4月1日）が生活をしています。草津市全体では人口増加が続いていますが、常盤学区では、年を経るごとに人口が減少し、高齢化率は22.4%と草津市13学区・地区のなかで3番目に高い比率となっています。

こうした中で今日まで、各町内会・自治連合会を中心に、社会福祉協議会や各種団体が協力して活動し、住みよい地域づくりに向けた取り組みを進めてきました。しかし、少子高齢化の進行、共働き世帯や核家族の増加、地域住民の生活スタイルが変化してきている中で、この常盤学区においても、地域のつながりが希薄化してきていることは否めません。また、地域活動の核である各種団体の役員の高齢化などにより、地域が主となって担ってきた防災・防犯活動、地域文化の伝承などの衰退が将来にわたって懸念されます。

一方、草津市においては、地方分権の進展や厳しい財政状況、行政サービスに対する市民からの要望の多様化等に対し、従来の手法で対応することが困難になってきています。

これらの状況から、地域と行政が連携・協働しつつ、地域独自の課題には、自らが考え、行動していく継続的な取り組みが必要とされています。

常盤学区は何と言っても“絆”の強い地域です。この団結力を活かし、常盤ならではの良さを出し、「自分たちの地域は自分たちでつくり、まもる」という考えを基本にして、各種団体との連携を密に、地域課題の解決に向けて活動し、さらに住みよい、安全で安心して暮らせるまちづくりを通して、地域が輝き続けるため、地域を総括する組織『人と地域が輝く常盤協議会』を設立するものです。

平成24年1月28日

人と地域が輝く常盤協議会
会長 今井 幸男

「人と地域が輝く常盤協議会」設立

平成24年1月28日(土)、午後7時30分から(仮称)「人と地域が輝く常盤協議会」の設立総会が常盤市民センターで開催され、「人と地域が輝く常盤協議会」が誕生しました。

総会では、規約や役員、予算等が審議され承認されました。

役員および組織は以下のとおりです。

今後は、各種団体の活動状況や地域課題の検討などを行いながら、住みよい常盤のまちづくりをめざして、活動を進めていきます。



主な事業計画(平成24年1月～平成25年3月)

月 日	事業名
1月～翌3月	各部会(3部会)
1月～翌3月	理事会
1月～翌3月	地域まちづくり計画の策定
4月	「人と地域が輝く常盤協議会」総会 新役員承認
4月	「人と地域が輝く常盤協議会」 新役員研修会
7月	地域協働合校サマーハウスときわ 地域協働合校推進委員会と連携
9月	敬老会事業 社協と連携
9月	学区民運動会 体振と連携
10月	学区民ふれあいまつり 実行委員会と連携
10月	平和祈念戦没者追悼事業 社協と連携

人と地域が輝く常盤協議会役員



役 職	氏 名
会長	今井 幸男
副会長	本間 道明
副会長	中村 義嗣
副会長	上寺 和親
副会長	伊藤 定雄
会計	市川 博
監事	伊藤 久男
監事	田中 定一
事務局長	居川 泉

人と地域が輝く常盤協議会組織図

